

防災のススメ 2020

家庭でできる備え 「マイ・タイムライン」

■問い合わせ 生活安全課 ☎64・6006

災害に備える「予定表」をつくらう

みなさんは「マイ・タイムライン」というものを知っていますか？
マイ・タイムラインとは、台風などの風水害に対して、「事前に何を留意するか」「いつ、どういった行動をとるか」などを、あらかじめ書き出して「予定表」のことです。
自分が取るべき行動をあらかじめ整理しておくことで、災害時にあわてず、安全に行動できます。
今回は、このマイ・タイムラインの作り方と、避難時の注意点について紹介します。

「マイ・タイムライン」作成のポイントと効果

作成のポイント

- 次の2点を特に意識し、内容に盛り込みましょう。
- いつ、どうやって、どこに避難するのか（避難のタイミングと方法、避難先）を決めておくこと
- 避難する際に、どのルートを通るのが安全か、事前に確認しておくこと

作成による効果

- 作成を通じて、安全で確実な避難行動をとる上で重要な、次の事項について知ることが出来ます。
- ① 自宅周辺の災害の危険性
 - ・ 浸水や土砂災害のリスクが無いのか
 - ・ 近い避難場所はどこにあるのか
 - ・ 避難場所へのルートに危険な箇所はないか
- ② 逃げるタイミング
 - ・ いつ、どの段階で避難するか
 - ・ 何を持って避難するか
- ③ 防災の情報にはどういったものがあるのか
 - ・ 下図の作成例を参考に、「いざというとき、どのように行動すれば良いか」を家族で考え、マイ・タイムラインを作ってみてください。

ハザードマップで危険を知ろう

市では、洪水や土砂災害など災害の種類に応じて、浸水などの危険性や、避難所の場所などを示した「ハザードマップ」を作成し、無料で配布しています。

マイ・タイムラインの作成に、これらの資料が必要な場合は、生活安全課まで相談するか、市公式HPからダウンロードしてください。

各種ハザードマップなどの入手方法
市公式HPにアクセス
(<https://www1.city.obama.fukui.jp/>)
↓
「防災・安全」
↓
「各種ハザードマップ」
「防災パンフレット『防災のススメ 2018』」

新型コロナウイルス感染症への対応について

現在、新型コロナウイルスの流行に伴い、災害時の避難所における感染対策が重要になっています。
市では、感染症対策のため、次の準備を実施しました。

- ① 各避難所への消毒液の設置
- ② マスクの備蓄
- ③ 間仕切りの備蓄 など

また、上の①～③以外にも、避難所での感染拡大を防止するためには、市民の皆さんの協力が不可欠です。
避難所へ避難する場合には、次のごことご協力をお願いします。

避難所へ避難する際に

注意すること

- ① 必ずマスクを着用して避難すること
- ② 自宅などを出る前に、熱や咳などの症状の有無を確認し、受け付け時に伝えること
- ③ 避難所では、手指の消毒を十分にを行うこと
- ④ 避難所が過密状態になるのを防ぐため、可能な場合は親戚や友人宅などへの避難を検討すること
- ⑤ 特定の避難所に避難者が集中し、いわゆる「3密」状態になることを避けるため、市職員から他の避難所への避難を依頼される場合があること

避難所での感染拡大を防止するため、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

気象情報や避難情報の意味や、自宅周辺の危険性などを、ハザードマップで調べておきましょう

マイ・タイムラインの作成例

	平時	大雨のおそれ	避難開始	避難完了	災害発生
避難情報	警戒レベル1 早期注意情報	警戒レベル2 大雨・洪水注意報など (気象庁)	警戒レベル3 避難準備・高齢者等 避難開始(市)	警戒レベル4 避難勧告(市) 避難指示(市)	警戒レベル5 災害発生情報(市)
状況		雨が強まってきた	市から避難情報が発令	近くの川の水かさが増してきた	川が氾濫 市内で土砂災害発生
事前に確認すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常用持ち出し品の内容 ・ 自宅周辺の災害の危険性 (浸水の深さ: _____m) (危険な場所: _____) ・ 避難する際、手助けが必要か、誰に手助けしてもらうか 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所などの開設状況 ・ 避難経路の確認 ・ 避難にかかる時間 (_____分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難先へ避難する (避難先: _____) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 命を守る行動をとる (近くの建物や自宅の2階など安全な場所に緊急避難)
取るべき行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビやインターネットなどで情報を集める ・ 非常用持ち出し品をチェックする ・ ハザードマップで避難経路や避難先を確認する 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 車のガソリンを補充する ・ 避難情報が発令されたら避難する ・ 親戚などに避難先を連絡する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難場所への移動を完了する ・ 外に出ると危険な場合は、建物の2階へ避難する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅内の安全な場所(2階など)へ避難し、救助を待つ ・ 再度、親戚などに連絡

下線部について調べ、タイムラインを完成させてみましょう

家族で話し合い、いざという時の行動を考えておきましょう！

「避難」とは、避難所へ行くことだけではありません。状況に応じた行動が大切です

要配慮者の避難について

「要配慮者」とは、高齢者、障がい者、乳幼児など、避難の際に特に配慮を必要とする人のことです。
市の指定避難所のうち、左の5施設では、バリアフリーに対応しており、要配慮者が安心して避難できるよう、専用の避難スペースや、身体障がい者用トイレ、エアコンなどを備えています。

バリアフリーに対応した市の指定避難所

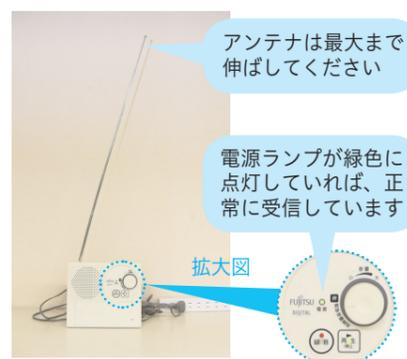
施設名	住所	電話番号
若狭ふれあいセンター	日吉 91-3	53・2010
健康管理センター	南川町 4-31	52・2222
働く婦人の家	大手町 4-1	52・7002
久須夜交流センター	阿納尻 43-10-1	53・2724
今富公民館	和久里 18-18	56・1211

防災行政無線について

乾電池のチェックを

防災行政無線の戸別受信機には、停電時でも緊急放送などが聞こえるように、乾電池をセットします。乾電池は、自然放電などにより、時間が経つと消

正しい設置例



耗します。
電源ランプが赤色と緑色に交互に点滅した場合や、放送終了後に「プップッ」というブザー音が鳴る場合は、電池切れの合図です。必ず乾電池の交換をお願いします。

放送が聞こえにくいときは
放送が途切れるなど、受信状態が悪い場合は、設置場所を変えてみてください。鉄筋コンクリートの壁ぎわや、テレビや電子レンジの近くなどは、受信に影響する場合があります。
設置場所を変えても聞き取りにくい場合は、生活安全課まで連絡してください。
チャイム放送で受信を確認
毎週月・水・金曜日の7時30分と19時30分に、チャイム放送を行っています。普段から受信状態の確認をお願いします。